

第 1 回策定委員会からの進捗と今後の予定について

1. 第 1 回 策定委員会以後の検討状況の概要について

第 1 回 策定委員会 令和 5 年 10 月 19 日（木）

- ・計画策定の進め方と策定スケジュールについて
- ・計画たたき案について（第 1 章、第 2 章、第 6 章 大方針のみ）
- ・今後の検討資料について（第 3 章、第 4 章、第 5 章、第 6 章 具体的な施策、第 7 章）

令和 5 年度第 1 回 都市計画審議会 令和 5 年 11 月 17 日（金）

- ・第 1 回策定委員会と同様の内容を報告（進捗状況）

第 2 回庁内調整会議 令和 6 年 1 月 19 日（金）

公共施設再配置計画策定に係る幹事会（庁内課長級会議）と合同開催

- ・両計画の関係性と計画策定スケジュール、計画策定後の具体的な取組みの進め方について
- ・市民意見の募集について

第 2 回 策定委員会（本日）令和 6 年 2 月 9 日（金）午前 10 時～（南館 講堂）

- ・（資料 1）第 1 回策定委員会からの進捗と今後の予定について
- ・（資料 2）計画策定スケジュールについて（令和 6 年 2 月 9 日時点）
- ・（資料 3）計画たたき案（全章）について
- ・（資料 4）市民意見募集について（時点骨子案）
- ・（参考資料 1）『参考：基礎調査資料について』

2. 第 1 回策定委員会での主な意見と計画の変更点について

- ・第 1 回策定委員会では以下のご意見をいただき、方向性を整理した上で、計画に反映をしています。

表 1 [第 1 回 策定委員会の主な意見と反映の方向性について]

No.	意見（概要）	方向性
1	「都市構造上の特性と課題」の内容が 1 章にあるべきかどうか再検討を。	第 2 章に移行し、「基本方針」への流れを整理しました。
2	生活環境の向上に終始した“リメイク”ではなく、地域の魅力向上も含めた検討を。他計画の要素も含んだ、きめ細やかな検討を。	本計画の性質上、「居住誘導、都市機能誘導、公共交通」に軸を置いていますが、屋外拠点やにぎわいの方向性の位置づけや、具体的な施策では区域外の“地域資源”に関するソフトの取組みも位置付けています。
3	今回、都市マスから反映されていない「みどりの拠点」「狭山池」「ウォーカブルネットワーク」「市街化調整区域」等の位置づけを立地適正化計画に反映することは可能か。	本計画の本来の目的（都市拠点化+ネットワーク化）以外の内容について、第 3 章以降で深掘していくことは難しいが、左記のような域資源に囲まれ、これらを活用しながら市全体のリメイクを進めるといった視点を持って具体的な取組みを検討しています。
4	乗務員不足、燃料費高騰、乗降客数減少、労働基準法改正等、課題は多い。利用者ニーズを踏まえ、将来的なバス路線廃止等を回避するため、必要に応じた見直しや効率的な運営について、検討する必要がある。	住民ニーズや生活圏を踏まえた公共交通ネットワークのあり方、広域視点による公共交通ネットワークのあり方、公共交通環境の維持・向上の視点から、計画内容を検討しています。具体的な取組内容については、公共交通事業者等と協議しながら取組みを進めます。
5	公共施設の再編との整合性や調整が必要。	各施設の課題整理（所管部署ヒアリング等を通して） ・モデルプランの検討 / 重点施設の方向性検討 今後、市民アンケート・タウンミーティングの予定。（別添スケジュール表参照。）
6	「立地適正化により期待する効果」は立地適正化計画を策定する意義や「計画の役割」に関わる内容であるから重要。記載内容の充実を。	内容を再検討し、第 1 章に記載しています。

・第1回策定委員会からの主な変更点については、以下の通りです。

表2 [第1回 策定委員会からの主な変更点について] ※ は、前回の策定委員会の意見を反映させたもの。

No	項目	変更の概要
資料 3	[全体]	<ul style="list-style-type: none"> ・章構成、流れの見直し ・第3章以降の新規作成 ・各種会議の意見反映 ・文言表現等の整理 ・図表等の作成やレイアウトの修正 など
	[第1章 立地適正化計画策定について]	<ul style="list-style-type: none"> ・「1-6 立地適正化により期待する効果」を第2章から移行し、内容を充実 ・「1-7 計画検討のフロー」を見直し。(都市マスからの流れが分かるように。) ・都市分析の内容を第2章へ移行。
	[第2章 基本的な方針(ターゲット)]	<ul style="list-style-type: none"> ・都市分析の内容「現状と課題の把握」を第1章から移行。都市分析に基づく分野別の課題(人口・財政)、都市機能誘導(拠点形成)に関するエリアごとの課題の2つの視点から市全域について現状把握。(都市マス等関連計画の位置づけを十分踏まえて。) ・「現状分析」から「基本方針」への流れ、考え方を整理。(2-2 冒頭、2-3) ・基本方針の内容の整理 居住誘導、拠点形成、公共交通それぞれで、全体の大方針の設定。 居住誘導：本計画における居住誘導区域、都市機能誘導区域の設定について、人口密度の誘導の視点から記載。 - 本計画外の、上位関連計画に基づく取組みも踏まえ、「地域の状況を踏まえた持続可能な地域づくり」として記載。 金剛駅(中心拠点)の方針として、広域視点による記載を追記。
	[第3章 居住誘導区域] 新たに作成	<ul style="list-style-type: none"> ・居住誘導区域の設定方針・考え方 ・居住誘導区域の具体的な設定
	[第4章 都市機能誘導区域] 新たに作成	<ul style="list-style-type: none"> ・都市機能誘導区域及び誘導施設の設定方針・考え方 ・都市機能誘導区域の具体的な設定 ・誘導施設の具体的な位置づけ ・その他(交通結節点、屋外拠点、にぎわいの方向性)の位置づけ ・各都市機能誘導区域における、誘導施設等の位置づけ
	[第5章 防災指針] 新たに作成	<ul style="list-style-type: none"> ・防災指針の方針 ・災害リスクの分析、課題整理と取組の方向性 ・取組内容、スケジュール
	[第6章 公共交通ネットワーク]	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目の記載表現の充実。(図の作成等) ・交通結節点としての具体的な方向性を位置づけ。 ・公共交通ネットワークの方針図についての説明文追記。 ・方針図の更新(公共交通事業者との協議状況により、今後更新する可能性があります。)
	[第7章 誘導施策] 新たに作成	<ul style="list-style-type: none"> ・前章までの内容、の関連計画の検討状況、関連事業の進捗等を踏まえ、施策展開の考え方(ストーリー)、具体的な誘導施策内容、各都市機能誘導区域における具体的な取組み内容、スケジュール等を位置づけ 令和6年度業務において、より具体的に各部署や組織と調整の上、記載内容を確定させる予定です。
[第8章 計画の進め方] 新たに作成	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルに基づく計画の進め方について記載。 P：計画の進行管理について、届出制度について D：施策・取組みの展開(より具体的な事業の位置づけとスケジュール感) C：評価分析による点検(アウトプット・モニタリング評価、第7章に応じた指標・目標値) A：計画の見直しについて 	

3. 今後のスケジュールについて

『資料4 市民意見募集について(時点骨子案)』にて、令和6年4月に市民意見募集の実施を予定しています。(公共施設再配置計画におけるアンケート調査と同時期に実施予定のため、状況により時期を変更する可能性があります。)

次回の第3回策定委員会は、令和6年7月上旬頃に実施予定。(開催日時については改めてご案内いたします。)

議題(予定): 市民意見募集の状況報告/計画素案について/パブリックコメントの実施について

【以上】